

麻田ひさみ 県政レポート

略歴 ●川西市議会議員2018年10月当選 ●兵庫県議会議員2023年4月当選



第372回 定例議会で質問いたしました!

第372回定例議会にて登壇、一般質問いたしました。
質疑の内容は以下になります。

1. 「手話は言語である」 社会の実現に向けた兵庫県の施策推進について

【質問:麻田】

手話が言語として注目される中、医療機関や避難所での手話通訳者不足、教育現場での手話言語獲得支援の不十分さ、手話通訳者の人材育成・雇用安定化に課題が残っています。兵庫県として、今後どのように手話言語施策を推進していくのか、ご所見をお伺いします。

【答弁:岡田福祉部長】

兵庫県は2005年に聴覚障害者情報センターを開設し、手話の普及促進に取り組んでいます。今後も各種講座や啓発活動で普及・浸透を図り、手話通訳者養成研修の拡充、教育現場への手話講師派遣など、関係団体と連携し体制整備を進めてまいります。

2. ヤングケアラー支援の充実と 地域間格差の是正について

【質問:麻田】

法制化後も、ヤングケアラーが自身の状況を「当たり前」と捉え、支援につながりにくい課題や、市町ごとの支援体制のばらつき等があります。兵庫県として、支援のさらなる充実と地域間格差の是正に向けて、今後どのような対策を講じるのか、ご所見をお伺いします。

【答弁:齋藤知事】

県はこれまで市町への技術的助言、ガイドブック作成、研修会実施などで支援してきました。今後は市町間のばらつきを踏まえ、市町と連携し支援を充実させます。具体的には、市町調整会議で学校等と連携した実態把握・支援の仕組み作りを進め、職員向け研修で運営方法や先進事例を共有。必要に応じ市町への個別ヒアリングを実施し、支援体制構築へ助言します。これらの取り組みを通じ、支援団体との情報交換会や推進委員会で施策を検証し、新たな施策につなげます。今後も関係機関と連携し、全県的なヤングケアラー支援体制の充実・強化を図ります。

3. エリアマネジメントによる空き家再生と 担い手育成に向けた支援について

【質問:麻田】

空き家の増加は景観悪化や地域衰退につながるため、活用が不可欠です。県はこれまで対策を講じてきましたが、今年度開始の「エリアマネジメントによる空き家再生」事業について、今後、担い手をどのように育成し、また取り組みを自立・自走させるため、どのような支援を行うのか、ご所見をお伺いします。

【答弁:齋藤知事】

県は2013年度に「空き家活用支援事業」を創設し、2022年度には「空き家活用特区条例」を制定するなど、地域活性化に取り組んできました。今年度からは、民間事業者が主体となり空き家をリノベーションし、課題解決や価値向上を目指す「エリアマネジメントによる空き家再生」事業を開始。シンポジウムを契機に、人材発掘、資金調達、企画立案・実行スキルを学ぶ現地研修を実施し、担い手を育成します。来年度には、エリアマネジメント団体向けに信用力向上のための認定制度を創設し、資金調達を円滑化。また、将来ビジョン作成支援やふるさと納税・ガバメントクラウドファンディングを活用した資金支援も検討します。今後も関係機関と連携し、空き家活用による地域活性化に確実に取り組めます。

4. 災害時における人とペットの共生環境の整備について

【質問:麻田】

能登半島地震でペット同伴避難の課題が浮き彫りになりました。兵庫県も同行避難の留意点を示していますが、同伴可能な避難所公表は一部で、事前周知も不十分です。「スフィア基準」整備が進む中で、「ペット同伴避難」についても明確な方針を打ち出すべきです。人とペットが共に安心して避難できる環境整備について、ご所見をお伺いします。

【答弁:唐津危機管理部長】

県の地域防災計画では避難所でのペット飼育について市町に措置を求め、運営指針では同行避難の留意点を明記しています。能登半島地震の経験を踏まえ、県ではスフィア基準に基づく避難所環境整備を推進し、県民・職員の意識向上を図ります。毎年、合同防災訓練でペット同伴避難訓練を実施しています。今年度は環境省と連携し図上訓練も行います。同室避難も、今年度改定予定の新指針で、配慮や衛生面、鳴き声対策を含め先進事例として紹介します。今後も普及啓発、市町による避難所のペット受け入れ体制整備、積極的な情報発信を通じて、人とペットが共に安心して避難できる環境整備に取り組めます。

5. 特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の 被害防止に向けた動画活用とSNS広告の導入について

6. 高校生の自転車通学におけるヘルメット着用率向上と 制度的支援の強化について

(1) 県立高校生の自転車通学時におけるヘルメット着用率の向上に向けた制度的対応について

(2) 高校生のヘルメット着用促進に向けた購入支援制度の導入と官民連携について



こちらの二次元コードから
質疑中継(録画)が視聴できます。



県民の安心と未来のために——502項目の政策提言を知事へ提出!

11月7日、兵庫県議会公明党議員団として政策提言を実施しました。

齊藤元彦知事に対し、以下を含む**5つの最重点項目**をはじめとする**計502項目**の政策提言を行い、意見交換を行いました。

- ・物価高騰対策
- ・災害対策としての感震ブレーカー設置補助制度の創設
- ・凶悪事件への対応としての防犯カメラ設置の推進
- ・特殊詐欺防止対策
- ・高等教育への支援拡充

麻田からは、以下の地域課題と成果を報告・提案しました。

- ・猪名川町・白金住宅の「県営住宅子育て世帯向けグレードアップ改修」により、空室が減少した事例を紹介
- ・川西市では「空き家活用支援事業」への申請が多数寄せられているため、県としての予算確保とさらなる制度の充実を要望
- ・川西市・猪名川町の住宅事情についても共有し、地域に即した支援の必要性を訴えました。

今後に向けて

地域の声を丁寧に拾い上げ、現場主義に基づいた政策提案をこれからも重ねてまいります。



日本農業遺産「山田錦」 記念シンポジウム

2月に認定された日本農業遺産兵庫の酒米「山田錦」の記念シンポジウムに出席致しました。

- 酒米と気候風土を生かした伝統的な栽培技術が特徴です。
- 生産者と蔵元の結びつきによる「村米制度」が認められました。

県内での生産は六甲山地北側ですが、僅かに猪名川町でも生産されています。兵庫県の山田錦の素晴らしさを更に多くの方に知っていただくことを期待します。



地域政策要望会 丹波・但馬・西播磨地域(9市5町)

公明党兵庫県議会議員団は、毎年夏に、公明党県議のいない地域の首長から県政への要望・意見などを聴く「地域政策要望会」開催しています。現場に出向くと新たな発見や、共通の課題があることに気づきます。

現場の声を基に地域の課題解決に全力で取り組みます。



実現

1 県道12号線猪名川溪谷ライン 猪名川町 木津

事故防止として蛍光で印を入れ
視認性を高める



2 県道12号川西篠山線 川西市鶯が丘交差点

対向車との衝突防止



3 国道173号線 川西市見野3丁目交差点付近

白線見えない→引き直し



After

